

山田クリニック ぽすと

平成23年 4月号

〒522-0054 彦根市西今町 923-1

Tel 0749-22-7005 Fax 21-3981

<http://www.hikone-yamadacl.com>

診察室から

3月11日に東日本大震災があり、地震と大津波により多数の方々がなくなられ、さらに原子力発電所の損傷に伴い、いまだに放射線の問題が続いています。また、東北を中心として医療機関や製剤メーカーの被害も激しく、血液透析の必要な方を他の地域で受け入れたり、特定の薬剤の供給不足が西日本でも起こっております。このような事態に対して、私たちは何が出来るかをよく考えたいと思います。日々の生活を維持しつつ、災害に会われた地域の方々に援助を行うことは簡単ではありませんが、わずかな事でも協力できることを行いたいと思います。先月にも書きましたが、今月から新しい認知症のお薬が発売になります。これまでのお薬で効果がなくなってきた方や、副作用で服薬ができなかった方に試していただきたいと思っています。

検査室より

レントゲン写真の白と黒 パート3

今回は、前回までのおさらいです。レントゲン検査で写真の白と黒は、一律にどちらかが悪いものをさすものではありません。今までこの欄でお話してきた通り、体のこの部分ではこの濃度というように一様に決まった値(X線を透す量)があります。骨は硬いのでX線を透しづらく白くなり、肺は正常な時は空気ですべて黒くなります。骨も若い方と比べ年をかさねていくとだんだんと骨粗鬆症まで行かなくても、ほとんどの方において骨量が減少してスカスカになりますので、黒っぽく写ります。またすり減った骨のカドには、角のような突起物が出来ます。これは若年層には見られません。肺では悪くなると酸素を交換する事が出来ず、それを治すために、皮膚に出来たキズと同様に腫れたり、出血したりします。やがて治すためにリンパ液などが豊富になり肺の中での道が太く写ります。当然、ひどければその部分は白っぽくなるのです。やがて治ってもきれいに消えるのではなくキズとなって残ります。そのように、黒い所に白いものや、白い所に黒いものを見つけるのが検査の目的です。さらにCT検査での白と黒は、細かな濃度の違いでも表現することが可能なのです。

(放射線技師)

季節のことは

春疾風 (はるはやて)

春の天気は変わりやすく、低気圧が日本海を通過するとき、春嵐が起きやすくなります。

一日中強い南風が吹きまくり、砂塵を天に舞い上げながら、気温は上昇します。

当院の診察時間のご案内

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	△	○	○	○
午後	○	×	○	×	○	×

午前診察 9:00~12:00 △:水曜日は11:00まで

午後診察 4:00~6:00

ご連絡

当院のホームページが新しくなりました。

アドレスは・・・

www.hikone-yamadacl.com

一度ご覧下さい。

